



桑野靖七

森川えりな

田中康博

細川力男

井元 潔

細川俊行

幸光正嗣

八田憲児

笠谷洋佑

幹事長ごあいさつ

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて昨年は、我が国において初となる女性総理大臣の誕生、大阪・関西万博の開催など希望の持てる出来事があった年でした。また滋賀県では国スポ・障スポが開催され、坂本城跡は国指定史跡となり、大津祭の曳山行事がユネスコ無形文化遺産への登録されるなど、私たちの身近なところでも、明るい話題があった年となりました。一方で長引く物価高騰が市民生活に大きな影響を及ぼしており、厳しい状況が続いております。

本市では、物価高騰対策をはじめ、教育・医療・福祉分野の人材不足、公共交通の維持、



災害リスクの高まりなど多くの課題に直面しています。だからこそ、将来を見据え、人・次世代・インフラ・地域産業への「未来に向けた投資」を着実に進めていかなければなりません。

新和会の幹事長として、対話を軸に会派を束ね、市政の前進へ確かな道筋を示してまいります。皆様の声に寄り添い、誇れる大津・住んでよかったと思える大津・子どもたちが夢と希望を持てる大津の実現に全力で取り組みます。本年が皆様にとりまして希望に満ちた一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

幸光正嗣

新和会幹事長



幸光正嗣

一里山在住

こうみつまさつぐ

幹事長

「地域の声に真摯に向き合い、現場主義で皆様の思いを形にする」「人と人をつなぐ架け橋として未来への一步を共に進める」これからは地域に根差した視点で取り組んでまいりますのでよりしくお願いいたします！



八田憲児

錦織在住

はったけんじ

副幹事長

貴重な人生経験を生かし、議員としての使命感を持ち、正しい道徳心、倫理観、価値観で、市民の皆様の最も身近な議員として誠心してまいります。午（うま）年は、スピードと決断力を大切に。「果敢実行」



細川俊行

日吉台在住

ほそかわとしゆき

副議長

昨年同様、今年も任期満了まで副議長の職責を果たして参ります。また、現場主義を貫き、まちづくりの推進、教育、福祉の充実を図るべく努めて参ります。変わらぬご支援ご協力をお願い致します。



笠谷洋佑

真野在住

かさたによすけ

副幹事長・政調会長

足元の最重点政策は、やはり物価高騰対策です。市民の皆さまの声を大津市政へと反映させることはもとより、自民党青年局の立場からも、地方の声を政権与党に対ししっかり伝えてまいります！



田中康博

伊香立在住

たなかやすひろ

幹事・副政調会長

早いもので、今年も議員 1 期目の最終年度に入ります。初心に返り、先ずは地域密着、地域の課題解決に全力で取り組みます。そして大津市の発展のために仲間と走り続けます。常に“七転八起”の精神で！！



細川力男

本堅田在住

ほそかわりきお

副政調会長

“いい大津(まち)づくりへ全力投球！”市民の皆様との対話を重視してまいります。様々な課題がある現状ですが、これまでの議員活動を活かし、現場の声をしっかりと市政に反映できるよう“力いっぱい”頑張ります。



井元 潔

山上町在住

いもときよし

広報委員長

今年もそれぞれの地域課題に関し、皆様のお声をしっかりと聞きし、人や自然がさらに輝く大津のまちづくりを目指して参ります。ご期待にお応えできるよう、とことんまじめに取り組みます！



桑野靖七

今堅田在住

くわのやすかず

事務局長

いつも【今】を大切に、現場で事実を捉える姿勢を原点に、ここまで議員として培った力を政策の実行へ確かに結びつける一年とします。多くの学びを賜ったことに感謝し、大津の未来へ確かな前進を形にしております。



森川えりな

仰木の里在住

もりかわえりな

副広報委員長・副事務局長

今年は、更に若者と地域の力を結び、新しいカタチのまちづくりに挑みます。小さな声や想いを未来につなげ、誰もが参加しやすい大津へ。一歩ずつ希望をひろげる一年にしております。

私たち新和会に皆さまのお声をお寄せください。



新和会
ホームページ



YouTube
チャンネル

ホームページからのご意見、お問い合わせもお待ちしております。

公職選挙法により、議員による時候の挨拶状・寄附行為などは禁止されています。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

笠谷 洋佑

Yousuke Kasatani

新たな地域コミュニティの構築に向けた取り組みについて

大津市では、自治会加入率が全体としてはじめて 50% を割り込み、今後の地域コミュニティのあり方が課題となっています。このような中、来年4月より市直営

となる市民活動センターでは、これまで以上に地縁型団体への支援を充実する事になりました。これからも、負担の少ない、持続可能な組織構築に向けて各地域と連携してまいります！



田中 康博

Yasuhiro Tanaka

① 出没が多発しているクマへの対応について

クマの出没情報を受け心配の声が多く挙がっているが、これまで以上にパトロールや追い払いの強化を行い、市民の安全確保に努めて頂きたい。

目撃件数が多くなる春先及び9月から11月を中心に、警察とも連携しながら、対応の強化に努める。



② 視覚障がいのある子どもへの支援用具給付について

本市では、学齢児から必要とされる支援用具の一部が、18歳以上などの規定になっており、早急に対象年齢の学齢児への拡充を求める。

視覚障がいのある子どもに対し、点字器や音声時計等の支給は、日常生活を円滑にするとともに、将来の自立生活に向けた訓練のためにも有益であることから、対象年齢の拡充について検討していく。

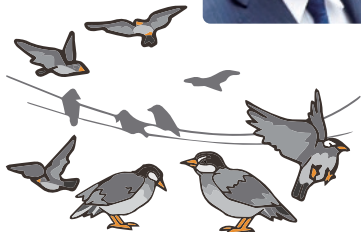
栗野 靖七

Yasukazu Kuwano

ムクドリ対策の方向性と市の対応方針

ムクドリによる都市鳥害対策の今後の方向性と実証実験の成果の活かし方について市の見解を伺う。

ムクドリは生活環境被害が中心であるため、まずは施設管理者や土地所有者による自主的な防除を基本としつつ、市民から相談があれば丁寧に説明し支援してまいります。また、堅田駅前での鷹による追い払いは、放置すれば生活環境や交通に影響が出ると判断し、県の許可を得て例外的に実施したものである。一律の基準化は困難であるが、市民などのムクドリ対策の参考となるよう、防除方法や駆除を請け負う国認定事業者をまとめた資料整備も検討している。



井元 潔

Kiyoshi Imoto

本市における空き家対策のさらなる推進について

2年前の空家法の改正以降、民間で、空き家の活用や管理に取り組む法人を「空家等管理活用支援法人」に指定する市町村が増加している。本市でも、指定対象とするにふさわ



しい法人があれば、民間のお力を生かす「空家等管理活用支援法人」に指定し、空家の所有者の相談先の充実、また、所有者への働きかけを十分に行うことにつながると考えるが本市の見解は？



他都市の事例を調査・研究した結果を踏まえ、現在、制度導入に向け取り組んでいるところである。

細川 力男

Rikio Hosokawa

大学との連携強化による地域活性化の推進について

本市は7大学が立地し「学生の力を地域づくりに活かせる基盤」が整っている都市であり、大学との連携強化による地域活性化の推進の考え方について伺う。

令和6年度の連携事業件数は目標値を上回ったが、各大学との連携内容や現状を把握の上、さらに大学との連携を深める。また、龍谷大学瀬田キャンパスが令和9年に設置予定の新学部との新たな連携を想定している。さらに今年度龍谷大学とソフトバンク(株)と三者協働によりハッカソンを実施するなど、今後、産学官連携が効果的に推進できると考えている。



私見発信

これまでの大学連携事業を踏まえた「産学官連携」による新産業の創出は、地域経済の発展や雇用創出に繋がることから、その取組に期待している。

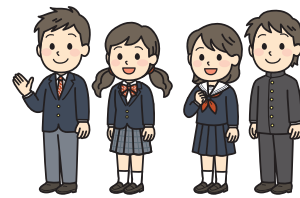
森川 えりな

Erina Morikawa

次世代人材を活かした観光発信のあり方について

石山高校の生徒からは「若者目線の SNS 発信が弱い」「学生と一緒に発信できるアカウントがほしい」などの意見があった。本市として、学生と市が共同で観光情報を発信する仕組み構築についてどのように考えているか。

若者の視点を生かした発信は効果的と評価する一方課題もある。個別のイベントやプロジェクトに特化した参加など、若者の強みを生かせる機会がある場合には、検討していく。



私見発信

若者の感性を生かした発信体制を築き、大津の魅力を次世代と共に広げていくべきである。

会 派 視 察 中核市サミット

R7.10.30～31 福井県福井市

10月30日～31日、福井県福井市で開催された「中核市サミット2025in 福井」に、1期議員5名で視察いたしました。

1日目は、全国62市の中核市が一堂に会しての基調講演や、『元気×イノベーション』～未来を創る地域づくり～など3つのテーマを掲げたパネルディスカッションにおいて、中核市それぞれの地域特性を十分に活かした成功事例などを聴講し、本市として今後特色あるまちづくりを進めていくことに向けて大変参考となりました。

2日目は、福井市内の現地視察として、戦国時代の城下町の姿を現代に伝える「一乗谷朝倉氏遺跡」における歴史遺産の保存活用および観光振興策について、今後の本市の歴史的・文化的遺産を活かした地域活性化施策を推進していく上での知見を深めました。

(栗野、細川力、田中、井元、森川)



教育保育職導入に伴う 幼稚園教員の給与制度 見直しに関する 決議について

本件については、議会に対し正式な報告や十分な情報共有がなされているとはいえない状況にあり、決議は時期尚早であると判断しました。新和会といたしましては、本市におけるより良い就学前教育のあり方を高所大所から検討し、子どもたちの育ちを第一に考えた制度設計となるよう最善をつくしてまいります。